

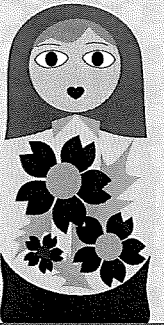
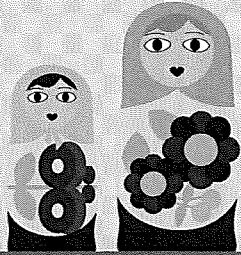


# プリローダ

第 62 号  
(NPO 第14号)

【ПРИРОДА】プリローダ=ロシア語で「自然」という意味をあらわす

発行：2016年9月11日



むさしの・多摩・ハバロフスク協会は、東京都武蔵野市で生まれた、「寒帯林保全」、「自然体験活動」、「国際交流」などを行う NPO 法人です。

## 設立20周年記念 2016植林ボランティアツアー 無事終了！



本年は、ナナイ地区・クトーゾフカ地区合わせて6000本の3年生チョウセンゴヨウを植樹。  
日本人25名とロシア人延べ100名以上の青少年、営林署の方々にご協力を頂きました。  
そして、これまでの植林総数は5万本を超えることになりました！



太平洋国立大学 自然利用・環境学部のパーベル学部長より20周年記念に手作り作品を頂きました。  
環境セミナーは野鳥観察に注目した「アジア太平洋諸国における現在の環境の中の鳥類学上の諸問題」がテーマ。



ハバロフスク市役所を表敬訪問、ソコロフ市長より20周年のお祝の盾を頂きました。



協会設立当初の所縁の地 友好の森記念碑のまわりに20周年記念でチョウセンゴヨウを植樹。



ナナイ地区トロイツコエの植林活動では、現地の中学生が参加。夏には緑の少年団交流で日本へ来ます！



地域の音楽祭を鑑賞させていただいた。コサックの方々に感動！



恒例となっている野鳥観察。重要な環境調査です。



インツーリストホテルで開催した協会設立20周年記念パーティー

### 設立20周年記念 2016植林ボランティアツアーinハバロフスク

期 間 2016年5月2日(日)～ 9日(日)

参加者 池野進、内田美佳、内田桃桂、鬼木麻理絵、川崎千代子、木崎栄子、酒本輝夫、杉山みどり、鈴木健祐、高尾望樹、高橋良子、田上陽菜、田河紗英、仲谷航、中村徹、林武志、原尚、保泉亜子、星野利桂、横山有道、横山 英慈、吉田真優、吉田梨乃、長島昭(顧問)、安藤栄美(理事長)

今年の植林ツアーは、協会設立20周年記念として実施した。昨年、協会の招へいで来日したハバロフスクの太平洋国立大学の学生から「来年は、沢山の日本の学生を連れてきてね！」という言葉が印象に残り、周年記念の目玉は「学割」を設定することとした。現地宿舎等にも学割交渉を行い、その甲斐あってか14名もの高・大学生の応募があり、総勢25名という植林ボランティアツアー始まって以来の最大人数での実施となった。

環境セミナーは、最近の植林ツアーでは恒例となっている野鳥観察にスポットを当て、「アジア太平洋諸国における現在の環境の中の鳥類学上の諸問題」というテーマで、日本野鳥の会茨城県会長の池野進氏に「なぜロシアに憧れる日本のバードウォッチャー」と題して、日本の野鳥観察専門誌のアンケート

でロシア極東が、行きたい国ランキング第2位になっている理由として、これまでの成果を披露して頂いた。また、太平洋国立大学からはタギロワV.T.女史による「沿アムール地域の大都市の鳥類」とグレッグV.S.先生による「極東ロシアおよび日本の野鳥の生息状態」の発表が行われた。

第1回の協会植林事業開催地であるハバロフスク郊外の「友好の森」では、太平洋大学の学生も一緒に記念植樹を行い、雨降る中ではあったが、友情を深めることができた。

また、ナナイ地区での植林作業にも、クトゾフカ地区での植林作業にも、現地の小・中学生が大勢参加してくれて、ちょうど開催されていた地域の歌や舞踊の行事にも合流させて戴き、写真を撮ったり会話をかわしたり交流をすることができた。

## 設立20周年記念総会および祝賀会の開催

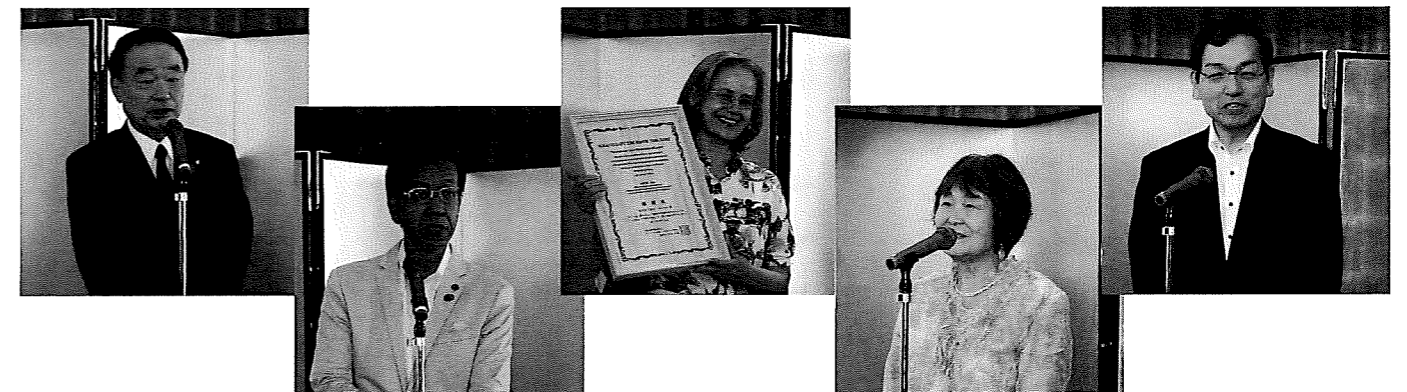
平成28年6月26日(日)武蔵境スイングビル・レインボーサロンにおいて、平成28年度総会、引き続き設立20周年記念祝賀会を開催しました。

今までの協会を支えていただいた方々を中心に80名を超える方々のご出席をいただきました。顧問である総務副大臣の土屋正忠代議士をはじめ、邑上守正武蔵野市長、そして、会員代表として高橋良一さんと垣原陸恵さんからご挨拶をいただき、協会設立20周年を祝う盛大な会となりました。

また、平成12年から14年間もの長きにわたりロシア語教室

「ロシアサロン」の講師を務めて下さったカチャイロワ・エレナ先生に感謝状を贈呈しました。

そのほかにも、ロシア軍艦ディアナ号ゆかりの地である戸田のビデオやハバロフスク市役所からいただいた紹介映像や、東京外国語大学のロシア民謡サークル「ルムーク」の歌声や梅木秀徳氏の馬頭琴・ホーミーの演奏など、出席していただいた方々に楽しんでいただき、設立20周年のお祝いにもふさわしい会にすることができました。



議案第1号

平成27年度 事業報告

平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

1 事業の成果  
本年度も、ひとつひとつの中身が濃い、充実した事業展開を行うことができた。特に植林事業や緑の少年団事業では、日本とロシアで、多くの協力者やスタッフにめぐまれた。2年越しの計画となった、太平洋国立大学生招聘事業も無事実施することができた。

2 事業の実施に関する事項  
(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費額(千円)
2015植林ボランティアツアー事業	緑の募金国際緑化直接事業の補助を受けて、植林活動を行った。	2015.5.3~2015.5.10	ロシア極東ハバロフスク地方	4	延べ150	5101
共催：太平洋国立大学生招聘事業	植林でお世話になっている大学学生との交流事業	2015.10.6~2015.10.13	日本大学生物資源科学部ほか	2	ロシア人学生10名・日本人学生10名	368
委託・緑の少年団国際交流事業	国土緑化推進機構の委託を受けて行った。	2015.7.27~8.2	ハバロフスク市郊外	3	70	1974
委託・緑の少年団報告書作成事業	国土緑化推進機構の委託を受けて、報告書編集およびDVDの作成を行った。	2015.8~12		3	150	709
プリローダ(広報紙)発行事業	広報紙を発行して広く活動を紹介した。	2015.12.1		3	会員ほか広く500	38

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費額(千円)

平成27年度 監査報告書

平成27年度「特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会」

収入支出決算書および事務執行については、平成28年6月19日に監査に付され、帳簿・領収書ならびに関係書類を照合した結果、決算の計数は正確なものであり、また、事務は適正に執行されていることを認めます。

平成28年6月19日

監事 落合 恒

監事 高橋 善教

議案第2号

平成27年度 活動計算書

平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会 (単位：円)

科	目	金額	金額	
I 経常収益	1 受取会費	受取会費	248,000	
		会費収入	248,000	
	2 受取寄附金	受取寄附金	0	
			0	
	3 受取助成金等	植林補助金	3,000,000	
4 事業収入		植林事業収入	2,253,000	
		緑の少年団事業収入	2,160,000	
		緑の少年団報告書事業収入	862,606	
		PNU招へい事業収入	151,478	
		プリローダ事業収入	0	
5 その他収益	受取利息	64	64	
経常収益計			8,675,148	
II 経常費用	1 事業費	(1)人件費	人件費	261,000
			作業日当	261,000
		(2)その他経費	植林費等	1,682,354
			会場費	41,700
			旅費交通費	1,435,749
			宿泊費	721,799
			食費	666,672
			通信運搬費	92,085
			通訳翻訳費	600,568
			消耗品費	499,739
			印刷費	920,040
			文印費	120,004
			会議費	4,720
			謝金	908,800
			手数料	49,254
	施設利用料	14,338		
	保険料	170,631		
	公租公課	1,000		
	その他経費計	7,929,463		
2 管理費	(1)人件費	人件費	0	
	作業日当	0		
	人件費計	0		
	(2)その他経費	旅費交通費	2,206	
	通信運搬費	53,180		
	消耗品費	4,664		
	印刷費	95,330		
	会議費	60,932		
	手数料	4,482		
	雑費	1,497		
	公租公課	1,000		
	広告費	30,000		
	HP管理費	48,600		
	その他経費計	301,891		
経常費用計			8,492,354	
	当期正味財産増減額		182,794	
	前期繰越正味財産額		1,838,065	
	次期繰越収支差額		2,020,859	

平成28年度 年間役員名簿

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	安藤 栄美	東京都武蔵野市吉祥寺東町1丁目15番25号	28年4月1日~27年3月31日	なし
副理事長	北爪 達也	東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2273番地30	28年4月1日~29年3月31日	なし
副理事長	田崎 桂子	東京都小金井市東町1丁目17番6号	28年4月1日~29年3月31日	なし
副理事長	依田 和也	東京都府中市美好町1丁目11番地の2	28年4月1日~29年3月31日	なし
理事	武川 俊二	神奈川県座間市相模が丘3丁目53番7号	28年4月1日~29年3月31日	なし
理事	永田 秀樹	東京都武蔵野市境南町5丁目1番20号	28年4月1日~29年3月31日	なし
理事	長村 廣司	東京都三鷹市新川1丁目14番11号	28年4月1日~29年3月31日	なし
監事	高橋 善教	東京都町田市鶴川2丁目15番地2の105	28年4月1日~29年3月31日	なし
監事	落合 恒	東京都武蔵野市境5丁目2番23号	28年4月1日~27年3月31日	なし

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会 顧問名簿

平成28年度の「特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会」の顧問は、下記のとおりとする。

平成28年6月26日現在

	氏名	就任日
顧問	秋山 智英	平成21年4月18日
顧問	土屋 正忠	平成21年4月18日
顧問	稲葉 孝彦	平成21年4月18日
顧問	木村 日出夫	平成21年4月18日
顧問	中野 哲夫	平成21年4月18日
顧問	長島 昭	平成23年6月26日
顧問	田村 俊介	平成25年6月20日

平成28年度 事業計画(案)

平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

1 事業実施の方針  
植林活動においては、ナナイ地区に加え、より山奥のクートゾフカ地区への植林を続けており、地球温暖化防止のための寒帯林保全に努める。設立20周年記念として、ハバロフスク市役所と協力して、20年前の最初の植林場所にて記念植樹を行う。更に、国土緑化推進機構の委託を受けて緑の少年団国際交流事業を行い、日露児童青少年の国際交流・自然体験の支援を行う。また、外務省管轄の日露青年交流センターと共催で日本人学生のハバロフスクへの訪問事業を実施して、さらに交流の輪を広げていく。

2 事業の実施に関する事項  
(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の予定額(千円)
2016植林ボランティアツアー事業	緑の募金国際緑化直接事業の補助を受けて、植林活動を行う。	2016.5.1~2016.5.8	ロシア極東ハバロフスク地方	2	どなたでも延べ150	5590
共催：太平洋国立大学との交流事業	植林でお世話になっている大学へ日本大学生が訪問する事業を日露青年交流センターと共催で行う。	2016.10.11~2016.10.16	太平洋国立大学ほか	2	ロシア人学生日本人学生の派遣15名	200
委託・緑の少年団国際交流事業	国土緑化推進機構の委託を受けて行った。	2016.8.2~8.9	赤城地域および東京近辺	5	70	2160
委託・緑の少年団報告書作成事業	国土緑化推進機構の委託を受けて、報告書編集およびDVDの作成を行う。	2016.8~12		3	150	900
設立20周年記念祝賀会	協会設立20周年を記念して祝賀会を開催する。	2016.6.26	武蔵野市内	5	50	200
プリローダ(広報紙)発行事業	広報紙を発行して広く活動を紹介する。	年間2回		3	会員ほか広く500	50

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	事業費の予定額(千円)

\* すべての議案は承認され(案)の文字は、はずされました。

# 委託事業 2016緑の少年団国際交流

書式第15号(法第28条関係)

平成28年度 活動計画書予算(案) 議案第5号		
平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで		
特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会 (単位:円)		
科 目	金	額
I 経常収益		
1 受取会費	150,000	350,000
正会員受取会費	200,000	
2 受取寄附金	50,000	50,000
受取寄附金		
施設等受入評価益		
3 受取助成金等	3,000,000	3,000,000
植林補助金		
4 事業収益		6,100,000
植林事業収益	3,000,000	
太平洋国立大学との交流事業収益	200,000	
緑の少年団事業収益	2,160,000	
緑の少年団報告書作成事業収益	900,000	
設立20周年祝賀会事業収益	40,000	
5 その他収益		1,000
受取利息	100	
雑収入	900	
経常収益計		9,501,000
II 経常費用		
1 事業費		9,100,000
(1) 人件費		
作業日当	500,000	
人件費計	500,000	
(2) その他経費		
植林経費	3,000,000	
会費	30,000	
旅費交通費	1,560,000	
宿泊費	400,000	
食費	700,000	
通信運搬費	28,000	
通訳翻訳費	400,000	
消耗品費	200,000	
印刷費	500,000	
交際費	50,000	
会議費	10,000	
材料費	5,000	
謝金	1,560,000	
手数料	45,000	
施設利用料	50,000	
保険料	60,000	
雑費	10,000	
書籍購入料	0	
公租公課	2,000	
その他経費計	8,600,000	
事業費計		
2 管理費		
(1) 人件費		
作業日当	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
会費	10,000	
旅費交通費	80,000	
通信運搬費	70,000	
消耗品費	40,000	
印刷費	100,000	
交際費	30,000	
会議費	28,000	
手数料	35,000	
雑費	2,000	
書籍購入料	10,000	
公租公課	0	
その他経費計	401,000	
管理費計		
経常費用計		
当期経常増減額		
7 III 経常外収益		0
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		
税引前当期正味財産増減額		0
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		0
前期繰越正味財産額		2,020,859
次期繰越正味財産額		2,020,859

平成27年度 貸借対照表		
平成28年3月31日現在		
特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会 (単位:円)		
科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	2,710,258	7,230,859
預金(ゆうちょ銀行)	23,736	
預金(東京三菱UFJ銀行)	1,393,917	
前払植林事業費	3,062,238	7,230,859
前払緑の少年団事業費	710	
前払20周年記念事業費	40,000	
流動資産合計		
II 負債の部		
1 流動負債		
前受会費	160,000	5,210,000
前受植林事業収入	3,550,000	
前受補助金収入	1,500,000	
流動負債合計		
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	1,838,065	2,020,859
当期正味財産増減額	182,794	
正味財産合計		
負債及び正味財産合計		7,230,859

2016年8月2日(火)～9日(火)にかけて、極東ロシア・ハバロフスク地方の子どもたちと緑の羽の募金、緑の少年団の国際交流事業が開催された。この企画は、公益社団法人国土緑化推進機構より委託を受けて、当協会が2011年より交流先探しから受持つて実施をしており、今年で6回目を迎えた。

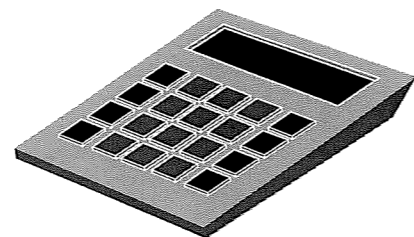
国立赤城青少年交流の家と代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターを宿舎に、日ロあわせて39名の小・中学生が活動発表会やうどん打ち、植樹活動ほか数々の交流を通して友情を深めた。

群馬では、サファリパークや県立自然史博物館を見学。東京では、日本科学未来館と葛西臨海水族園を楽しんだ。

今年は、植林ボランティアツアーに参加した大学生10名(東京外国語大学・日本大学)がスタッフとして大活躍。また、会員の三浦和真さん・山本誠一郎さんもレクリエーション担当で武蔵野ジャンボリーの腕力を発揮。日比野勲さん(成蹊大学ボランティア支援センター勤務)は、今年もビデオ撮影担当を引き受けて下さった。

毎回、緑の少年団を始め植林ツアー等の通訳を務めて下さるオルロフ ウラジミル氏に感謝状を贈呈。

ロシアメンバーは、最終日にお待ちかねのディズニーランドも楽しんで、7泊8日の日本の旅を堪能して、満面の笑みで帰国した。



## ロシア絵本のご案内

2冊の翻訳絵本のご紹介です。ロシアの絵本・カレンダーシは、翻訳絵本出版と原書絵本のウェブショップ販売をしています！ロシア絵本ブログも随時更新中！  
代表の上野はかつてMTXAロシア語クラスに在籍、昨年念願のロシア一人旅を実現しました。



### 「うさぎのいえ」

「てぶくろ」でおなじみの画家ラチョフの昔話絵本。家に乗っ取られたうさぎを助けたのは…。朝日小学生新聞で紹介されました。  
本体 1100 円 (税別) ISBN: 978-4-9907032-0-2

読み聞かせに  
ぴったり！



### 「わいわいきのこのおいわいかい きのこ解説つき」

国際アンデルセン賞受賞画家マーヴリナ作品。13種類のきのこが次々登場。国立科学博物館の保坂健太郎博士の楽しいきのこ解説付き。  
本体 1500 円 (税別) ISBN: 978-4-9907032-1-9

のぞいてみよう  
きのこの世界



※ご注文は全国の書店か、下記カレンダーシまでお問い合わせください。

карандаш  
カレンダーシ

〒167-0042 東京都杉並区西荻北 5-6-25 03-3399-4137 (FAX)  
http://karandashi.jp (出版) http://karandashi.ocnk.net (ウェブショップ)



もう1冊ご紹介！ 当協会がお世話になっている翻訳家：岡田和也さんの作品です。「へつツィール物語」-おとぎばなしの動物たちとふたりの女の子の友情についてのたのしくておかしくてほんとうのようなおはなし (2015年11月10日発行・未知谷) きたやまようこさんの挿絵です。作者の画家、教育者、児童文学者であるアレクサンドル・レペトゥーヒンさん (Александр Петрович Лепетухин) は、残念ながら本年7月12日に逝去されたそうです。「えっ！へつツィールを舞台に、こんなかわいいおはなしがあったの。」と感動した作品でした。

さらに、もう1冊ご紹介！ 毎日新聞記者で緑の少年団やハバロフスク植林ツアーの植樹の記事を書いて下さった山本悟さんが独自の取材をもとに上梓。「山のきもち」森林業が「ほっとする社会」をつくる (2016年7月30日発行・東京農大出版会・1600円) です。国民の祝日「山の日」記念。ヤマや木材の現状や課題、歴史、可能性を網羅した一冊です。売り上げの一部は「緑の募金」に寄付されるそうです！

山のきもち  
MOUNTAIN LITERATURE  
BOOK



## ＜ご寄付のお願い＞

植林ボランティアツアーで、たびたび訪れているシカチ・アリヤン村を紹介して下さったユーラシアンクラブの大野遼さんよりカンパのお願いが来ました。この村の「経済的自立支援」を目的に、エコカルチャーセンターの設立を考えているそうです。過去の中国東北部の石油化学工場の爆発によるニトロベンゼン汚染により、アムール川の漁労の村であったシカチ・アリヤンは、その漁労を禁止された上に人々が魚を食べることも禁止となり、存亡の危機に立たされ、漁労以外の生きる道を模索することとなりました。当協会もこの活動に協力をしたいと思いますので、ご支援をお願い致します。

送金先：ゆうちょ銀行 〇一九店 当座 0655125 NPO法人むさしの多摩ハバロフスク協会  
お名前の上に「シカチカンパ」とご記入下さい。

## プリローダ 第62号

発行日 平成28年9月11日  
発行 NPO法人むさしの・多摩・ハバロフスク協会  
住所 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-15-25  
TEL/FAX 0422-23-5351  
E-mail mail@mtxa.org  
URL http://mtxa.org/  
発行人 安藤 栄美  
編集 田崎 桂子  
広報委員 依田和也、北爪達也、永田秀樹、木崎 剛、落合 恒、内田 央、内田 周  
印刷 巧芸印刷(株)

## 編集後記

設立20周年という記念すべき年を迎え、順調に記念事業が進んでいます。

新たに企画した「持続可能な社会構築のための大学間交流」を10月11日から5泊6日の予定で実施します。武蔵野大学と東京外国語大学の学生の参加でハバロフスクの太平洋国立大学の学生と交流を行います。今後は、これまでに増して環境教育の分野に力を入れていきたいと思っています。